

EXCEL 設計書取り込みツール 2013

2013 年 01 月版

操作説明書（共通編）

（第 1 版）



目 次

1 はじめに.....	3
2 操作説明.....	3
2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順	4
2.2 『テクノス V2』での操作手順.....	9
2.3 『テクノス V2』での上書き参照機能の活用方法.....	10
3 補足（動作環境）.....	11

1 はじめに

本書は、発注者から提供された工事設計書(電子)データ、またはそれらを元に準備された EXCEL 形式データを『テクノス V2』に対応したデータに変換するツール、『EXCEL 設計書取り込みツール 2013』の操作説明書です。

本ツールは Microsoft 社の EXCEL を利用しており EXCEL 2007 以降のバージョンが必要です。できる限り、最新バージョンのご利用を推奨します。また、ライセンス管理には『テクノス V2』と同一の USB プロテクタを利用していますので、『テクノス V2』が起動する環境(PC)が必須です。

本ツールの使用に際し、次の説明書でインストールしてください。

インストール	EXCEL 設計書取り込みツール 2013 2013 年 01 月版 インストール説明書
--------	--

また、発注者から提供される電子データのファイル形式が PDF および XDW の場合、次の説明書を参考にして変換の上、EXCEL ファイルを準備してください。

PDF 形式	PDF⇒EXCEL(瞬簡 PDF 変換8) 簡易操作説明書
XDW 形式	XDW⇒PDF⇒EXCEL (DocuWorks Viewer Light、瞬簡 PDF 変換8) 簡易操作説明書

ここでは、準備された EXCEL 形式のファイルを使用して『テクノス V2』に対応したデータを生成するための操作方法について説明します。

2 操作説明

EXCEL 設計書取り込みツール 2013 は都道府県等、発注機関により独立したツールとなっていますが、基本的な**操作方法**は同一です。
ここでは 愛知県版 を利用して手順をご説明します。

名称等は使用するツールの名称等に置き換えてお読み進めください。

【準備】

- ・『テクノス V2』が正常に動作するようにプロテクタを準備してください。
- ・発注者から提供される工事設計書(電子)データ EXCEL ファイルを準備してください。
(PDF 形式、XDW 形式の場合は先の説明書を参考に EXCEL 形式変換してください。)

2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順

(1) ツールの起動

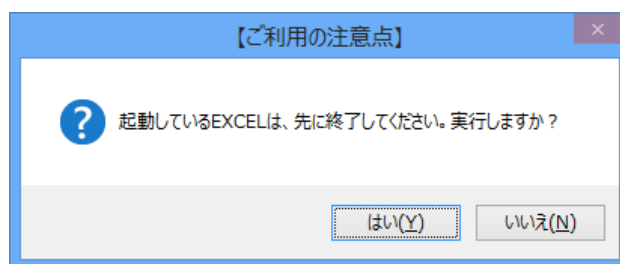
デスクトップのショートカットアイコンから本ツールを起動します。

デスクトップ等に作成されるアイコンの名称は「設計書取込2013」の文字で始まります。



(2) 起動前の確認(他の EXCEL ファイルが起動していないことの確認)

【ご利用の注意点】の画面が表示されます。内容を確認してから[はい] ボタンをクリックします。

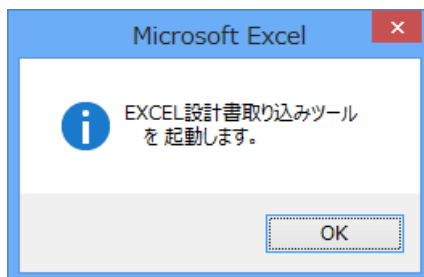


※ なお、本ツールの利用には EXCEL のマクロ実行を有効にすることが必要です。

(有効化の方法が不明な場合は、別紙「EXCEL マクロ有効化手順書」を参考にしてください。)

(3) ツールの起動

マクロが有効化されツールが起動されると「EXCEL 設計書取り込みツールを起動します。」と表示されます。 [OK] ボタンをクリックします。



(4) 略称、条件等の設定

MENUシート(画面)にて



次の項目を設定し、[取り込み実行(ファイル指定など)] ボタンをクリックします。

【工事情報】

工事情報	略称 (必須項目)
	請負者名
	発注者名

略称は『テクノスV2』の工事管理画面の工事名に表示される情報です。

少ない文字数でわかり易い名前を付けてください。

また、実際の工事名、工事個所、工事概要などはこれから取り込む工事設計書に記載されている情報から可能な限り自動的に取り込まれます。

【条件設定】

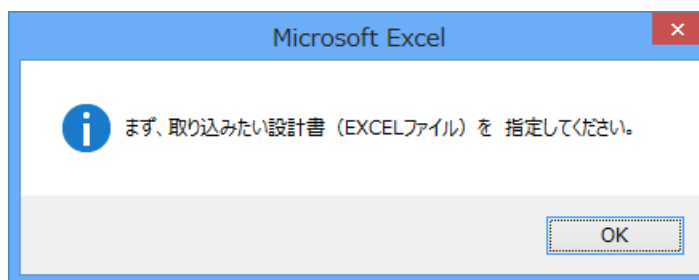
モード設定	通常 (選択)
	上出来専用 上出来 BEST で取り込める形式
取り込むデータの レベル選択	(任意) 変換したい(『テクノスV2』へ取り込みたい) データの階層を指定します。

【単価表の強制参照化】

<input type="checkbox"/> 帳票番号が同一の単価表の参照化 (名称規格は考慮しない)	<p>初期状態 (<input type="checkbox"/> : 非選択) では、帳票番号と名称、規格が同一であれば同一の単価表として判断します。</p> <p>本設定が有効になると、名称および規格の同一性は無視して、帳票番号のみで判断します。</p> <p>参照化された単価表は『テクノス V2』上では同一とみなされるため、一方の内容を変更するとその変更結果が参照化されている他の単価表にも自動的に反映されます。</p>
--	--

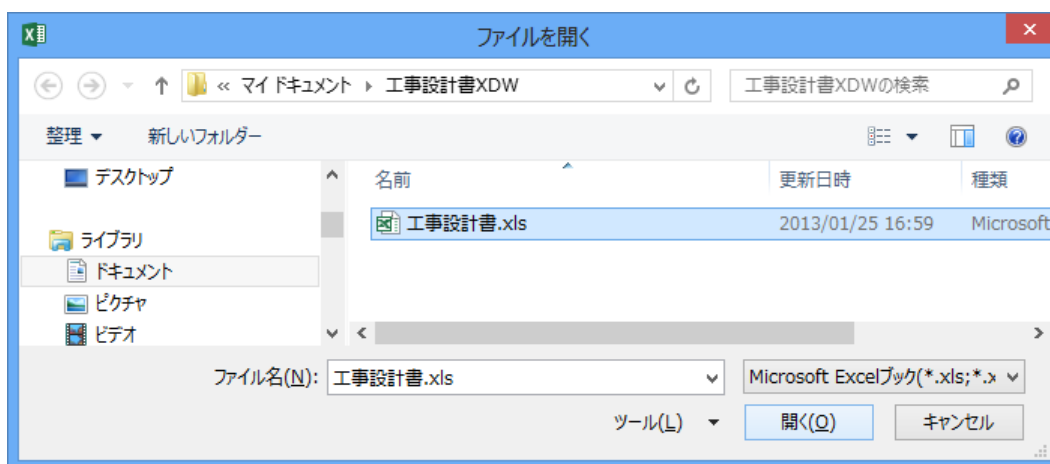
(5) EXCEL ファイルの選択1

取り込みが実行されると右の確認画面が表示されます。 [OK] ボタンをクリックします。



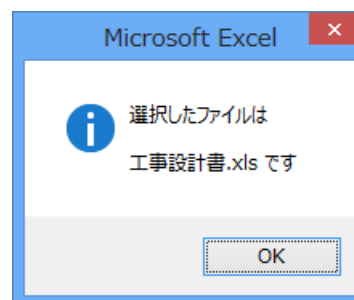
(6) EXCEL ファイルの選択2

ファイルを開くの画面にて 対象の EXCEL ファイルを保存したフォルダから対象のファイルを選択し、 [開く] ボタンをクリックします。



(7) EXCEL ファイルの選択3

表示された確認画面にて、 [OK] ボタンをクリックします。

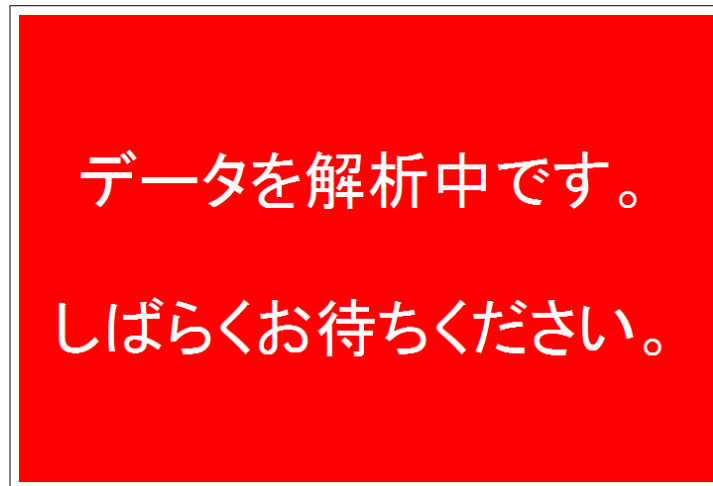


(8) 取り込み実行処理 (対象データのコピー)

取り込んだ EXCEL ファイルから必要な情報がコピーされます。
処理中は画面上のウィンドウが頻繁に切り替わることがあります。(しばらくお待ち下さい。)

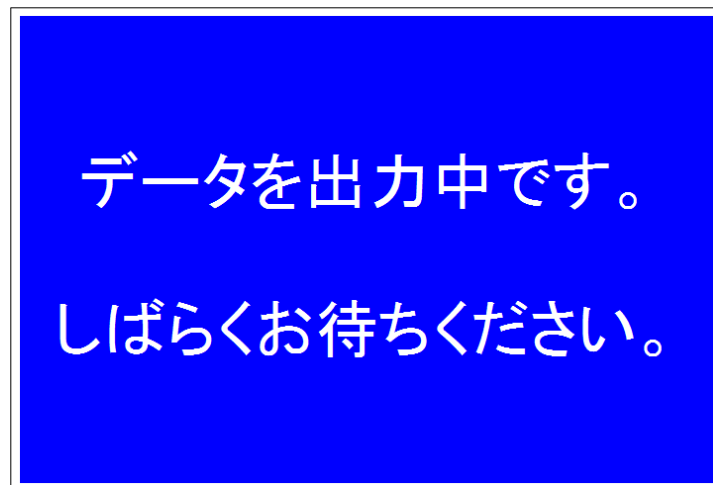
(9) 取り込み実行処理(分析中)

コピーが終了すると、EXCEL形式の工事設計書に記述されている階層情報等、積算を構成する要素、種類等が分析されます。



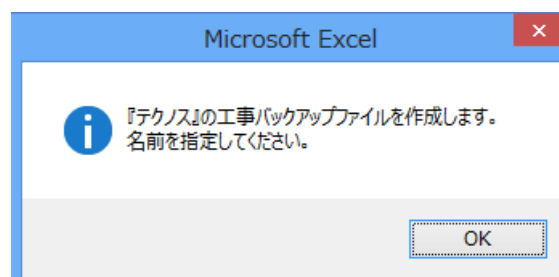
(10) 取り込み実行処理(出力中)

分析が終了すると、ファイルへ出力する情報が生成されます。



(11) 取り込み実行処理(出力の確認)

ファイル出力の準備が完了すると次の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



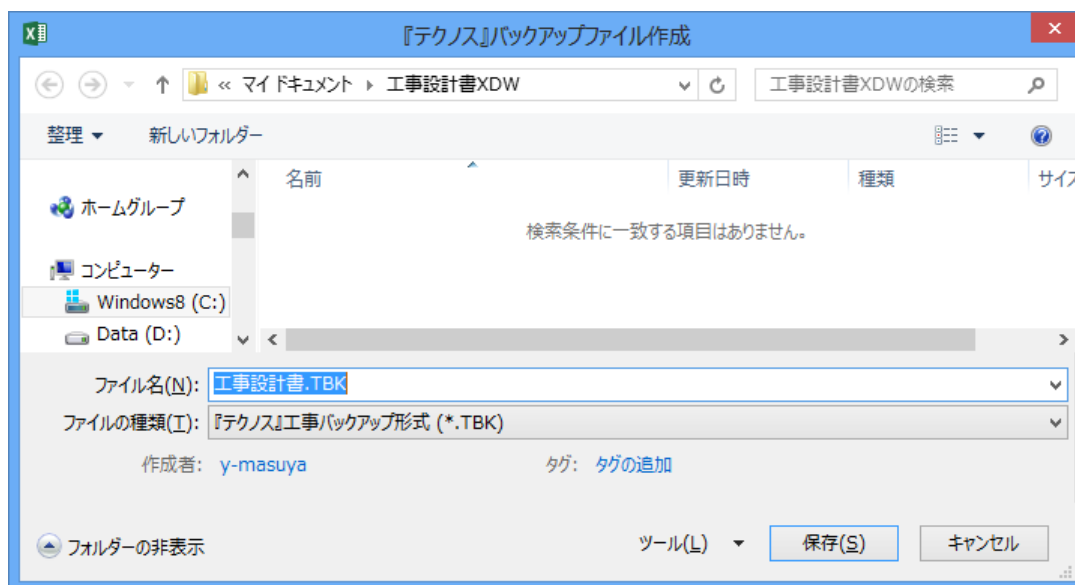
(12) ファイル出力(ファイルの指定)

『テクノス』バックアップファイル作成」画面にて保存するフォルダを選択し、ファイル名を指定

してから [保存] ボタンをクリックします。

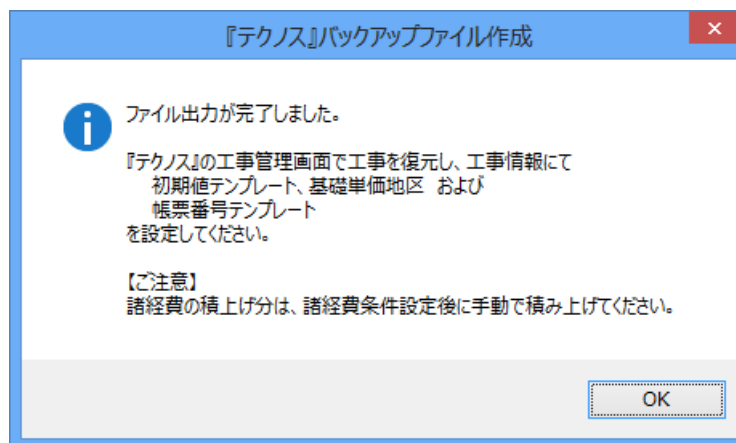
(先に指定した **略称** がファイル名の初期値として自動的に設定されています。

このファイル名は自由に変更できます。)



(13) ファイル出力完了

ファイル出力が完了すると次の確認画面が表示されます。内容を確認した後、[OK] ボタンをクリックします。



(14) ツールの終了

ウィンドウ右上の [X] をクリックします。

以上で『テクノス V2』へ取り込むためのファイルが準備できました。続いて『テクノス V2』へ読み込みます。

2.2 『テクノス V2』での操作手順

ここでは EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたファイルを『テクノス V2』へ読み込む手順を説明します。

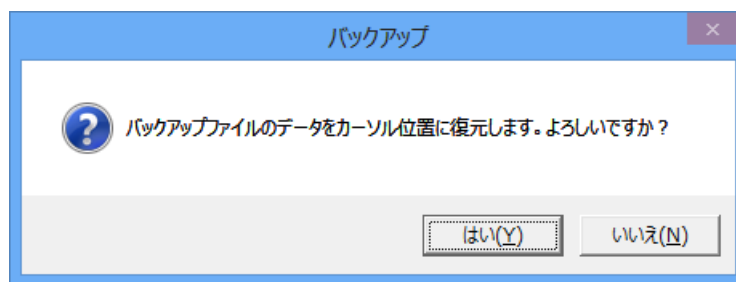
(1) 「設計書から」の実行

『テクノス』の工事管理画面にて工事名の空セルを選択し「設計書から」ボタンをクリックします。



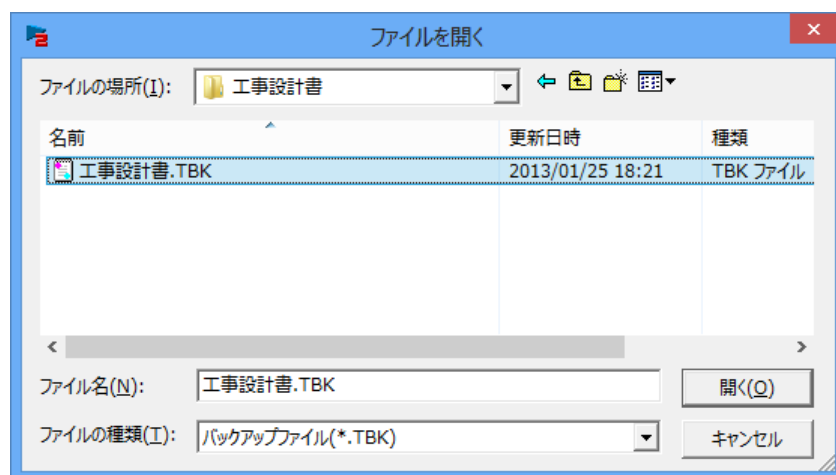
(2) 復元の確認

表示されたバックアップファイルの復元確認画面にて [はい] ボタンをクリックします。



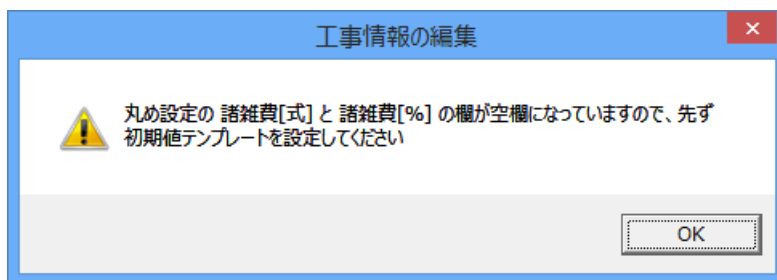
(3) 対象ファイルの指定

ファイルを開く画面では先ほど EXCEL 設計書取り込みツールにて保存したフォルダから対象ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(4) 初期値テンプレート設定の確認

処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。初期値テンプレートの設定に関する注意を促す画面「工事情報の編集」にて [OK] ボタンをクリックします。



「設計書から」にて復元された工事データは、新規に作成された工事と同様に初期値テンプレートの適用が必須です。

- ・初期値テンプレートの設定 (必須)
 - ・基礎単価地区 (必須)
 - ・帳票番号テンプレート (任意)
- ほか

以降の操作は通常の積算操作と同様です。

なお、積算の骨組はすでに構成され、単価表の名称、規格など表題情報は確定されています。これら名称等を活用し文字入力操作を削減する方法について次項で説明します。

2.3 『テクノス V2』での上書き参照機能の活用

EXCEL 設計書取り込みツールにて変換されたデータにおいては単価表の名称、規格など表題情報が確定されています。これらを活用することにより元の工事設計書と同一の用語が使用できるとともに文字入力の手間が削減できます。

新規に単価表を積み上げる場合は空白行を選択しますが、既存の行を活用するためには対象の行を選択した上で、[上書参照(不変)] をクリックします。

No.		名称/規格	単位	数量	単価	金額	番号	f ^
13n	<input type="checkbox"/>	構造物とりのわし・運搬・処分					代価表 第17号	WB811E
	<input type="checkbox"/>	無筋構造物、機械施工、10m3未満、低騒音	m3	0.2	0	0		

この後の操作手順は新規に工事を作成した場合の[積算基準一覧] 機能での手順と同様で、結果として選択行の中身(下の階層のデータ)が上書きされます。ただし、表面に見えている選択行の名称、規格等(単価表の表題部分)の情報は不変のため元の値が維持されます。

3 補足（動作環境）

動作環境についてはホームページのダウンロードサイトを参照してください。

EXCEL 設計書取り込みツール 2013
2013年01月版

操作説明書（共通編）

著作者 — 株式会社テクノ
発行者 — 株式会社テクノ

発行日 — 2013年02月06日 第1版
2019年12月05日 第1版 改